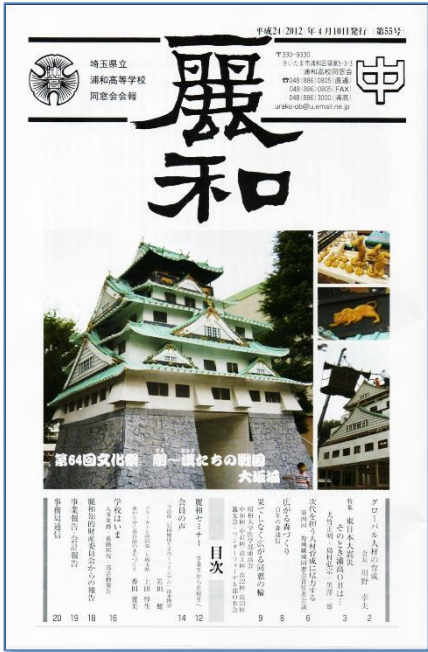


同窓会報でも春日部をPR!

●麗和に私の原稿が・・・!

昨日、高校の同窓会会報「麗和」(第55号、写真①)が届きました。「第64回文化祭 剛(ごう)



～漢(おとこ)たちの戦国/大阪城」が表紙を飾り、私たちが手作りで文化祭ゲートを作った40年前を思い出しました。いや～、私たちの作品に比べるとすごく立派です。

さて、そんな表紙の下に並んだ目次に目を落とすと・・・。

- ◆「グローバル人材の育成」 会長 川野幸夫
- ◆特集「東日本大震災 そのとき浦高OBは・・・」 犬竹正明・島村弘宗・黒澤一雄
- ◆「次代を担う人材育成に尽力する」 第四回 地域職域同窓会責任者会議
- ◆「広がる森づくり」 百年の森通信
- ◆「果てしなく広がる同窓会の輪」 昭和大学医学部職域浦高会・年代同窓会の紹介
- ◆「麗和セミナー」 卒業生から在校生へ
- ◆会員の声 今治市「岩田健母と子のミュージアム」由来物語 岩田 健
- 「ドラッガーと渋沢栄一と埼玉県」 上田惇生
- 「変わりゆく春日部のまちづくり」 香田寛美
- ◆「学校はいま」 人事異動・進学状況・部活動状況
- ◆「麗和知的財産委員会からの報告」
- ◆「事業報告・会計報告」
- ◆「事務局通信」

と諸先輩に文章に混じって私の投稿が載りました。

*

●変わりゆく春日部のまちづくり

香田 寛美 (高25回)

◆憧れだった都市計画

私は現在、春日部市役所で都市計画、市街地整備、建築・開発規制誘導などを担当する都市整備部長を務めています。

私が“都市計画って面白そうな仕事だなあ”と思ったのは、浦高一年生の時でした。社会の新田純弘先生が紹介してくださった当時「東洋一」と言われた春日部市武里団地(昭和四一年入居開始、約六千戸)のスライドで、整然と並ぶ住棟、広い歩道のある道路、公園を繋ぐ歩行者専用道路など、新しいまちの景観を目の当たりにして大きな衝撃を受けました。その後、丹下健三さんの海上都市計画「東京計画1960」などを見て、都市を創造する建築家に憧れたものでした。

大学では建築を専攻し、都市計画への憧れから昭和五四年に春日部市役所に建築技師として入所し、建築課を振り出しに、春日部駅周辺の再開発事業や都市計画マスタープラン(二十年後のまちづくり計画)などを担当してきました。

◆「粕壁宿」から歴史と文化を再生する

平成元年当時、再開発事業を担当していた頃に、地域の人から「再開発事業は歴史や文化を壊していく」というショッキングな言葉を耳にしました。再開発は地域にあった古い生活空間を改造し、機能的で効率的な都市を創っていく事業なのですが、そこに暮らしてきた人々の生活やコミュニティを大きく変えてしまうということも事実でした。

その反省から、平成八年から携わった都市計画マスタープランづくりでは、地域住民の皆さんと一緒に計画を練り、地域の文化や歴史を大切にするまちづくりを計画に取り込んでできました。

その後、企画部門に移り平成一五年からは合併事務局に出向し、平成一七年に庄和町との合併をまとめ、行政最大級のまちづくりも実践することができました。

今年度から「粕壁宿復活」に力をいれています。第一ステージはシャッターアートや映



画看板による街並み文化再生、街角音楽祭など来街者に興味をもていただく仕掛けです。第二ステージ

では来街者をもてなしながら地域も元気になっていくコミュニティ型商業の創造です。

また、一昨年から地域同窓会の社会貢献活動で「春日部麗しの杜づくり」を進めています。市内古利根川沿いの公園で十年間植栽などを行いながら環境を守っていく活動です。ソフト・ハード両面から変わっていく春日部に乞うご期待を!